

創立149周年 1月号（令和5年1月10日発行）

*kurosyou-dayori*

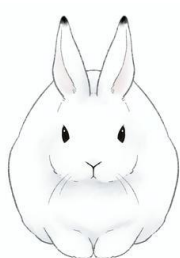


# 鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

令和5年 癸卯(みずのと う)の年が始まります。

校長 玉置 恭美



新しい年の始まりです。年末年始の横浜では、穏やかに晴れた日が多く、のんびりとお正月を過ごした人も多かったと思います。

12月31日の紅白歌合戦が終わったところから、祥泉院に詣でる人たちが多くなってきたようです。日付が変わる直前から、鉄神社に参拝に行きました。

地域の方々が、参拝者が暖をとれるようにと、かがり火や焚火を準備してください、鉄ばやしの方々の演奏が新年の幕開けに向け彩を添える中、神前で太鼓が打ち鳴らされ、令和5年度の到来を告げていました。このような瞬間に同席したのは、初めてのことで、鉄神社の伝統と地域の方々の思いを、再度心に刻む卯年のはじめとなりました。

元日には、「元旦祭」が鉄神社で行われ、今年一年が平穏であるよう、願いました。

ここ数年大人数で集まり、飲食したり、懇話会を行ったりすることが制限され、人と人とのつながりを保つことの難しさを感じられます。インターネットの普及により、対面でなくても会議が可能にはなりましたが、実際にお会いして言葉を交わすことが、心を通わせる、心の潤いを保つ術なのだと思います。新型コロナウイルス拡大防止のための対策は今年も続きます。予防をしつつではありますが、できる限り「つながり」を大切に、子どもたち、保護者、地域、そして学校がしっかり連携し、よりよい鉄のまち、そして鉄小学校を創っていきたく願い、年頭に思う今年の一文字、モットーとなる文字として「績(つむぐ)」が浮かびました。過去と未来をつなげる、手と手、心をつなげる、地域・保護者と学校が連携して、鉄小学校そして鉄のまちの歴史がどんどん積み重なって未来へ向かっていく、、、。そんな一年に、そして150周年目になることを祈念しております。



十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)を組み合わせたものが「干支」です。

今年は「癸卯」(みずのと う)。穏やかな年で、これまでの努力が実を結び、

好転、飛躍するという意味があるそうです。児童の皆さんが伝統を大切にしながらも新たなものに挑戦して、飛躍するような年になることを願います。本年もよろしくお願いいたします。